

立命館経済學

第十八卷 第四号

昭和四十四年十月

内 容

論 説

- 京都商人の商魂について (二) 足 立 政 男 1
—老舗の店則から見て—

研 究

- ジョン・ロックの経済理論とその体系性 稲 村 勲 45

研究ノート

- 資本論における方法と世界観 (中, その一) 梯 照 秀 66

立 命 館 大 学 経 済 学 会

論説

河上・経済学の今日的意義……………相澤秀一

ルール石炭鉱業の展開とプロイセン

鉱業法(完)……………川本和良

研究ノート

資本論における方法と世界観(上)……………明秀

―その残された諸問題の一つについて―

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

論説

京都商人の商魂について(一)……………足立政男

―京都の老舗における店則から―

銀行資本における観念論批判……………小牧聖徳

―研究方法との関連において―

労働力政策に関する覚之書……………三好正巳

研究ノート

独占段階成立期の資本制的労働過程坂本和一

―鉄鋼業の場合―

発行所 立命館大学経済学会